

松任での海浜レクリエーションと避難経路

団体名●齋藤ゼミナール(人文学部3年)／代表者名●齋藤千恵(人文学部国際文化学科・教授)

はじめに

本活動は、本学経済学部新教授が率いる「SDGs 未来都市 白山市のSDGsプロモーション活動」の地域貢献活動の一部として行われた。本活動では、人文学部の齋藤ゼミ3年生4人が参加し、松任海浜部でのレクリエーション施設とそこからの避難経路について、フィールドワークを行った。松任海浜公園は、徳光海水浴場に隣接し、バーベキュー場やゴルフ場、「冒険の森」と名付けられた遊具が設置されているエリアなどを内包する公園である。その北東には、松任海浜温泉ホテルがある。北陸自動車道を挟んで、対岸には、「松任海浜温泉おつかりさま」がある。本ゼミでは、こうして大きく広がる日本海に面したレクリエーション施設において、津波被害からビジターたちをどう守るのかを課題に活動した。



避難施設標識 (写真提供：内潟美晴氏)

松任海浜公園とその周辺で

本ゼミでは、松任海浜公園とその周辺を巡りながら、実際の避難経路の確認を行った。津波からの避難場所は、北陸自動車道の向こう側にある「おつかりさま」の駐車場であった。この駐車場は、海拔9メートルの場所に位置しているので、東日本大震災級の津波であれば、安全な避難所となると予想される。また、当駐車場にある飲み物の自動販売機は、災害時には避難者の水分補給のために役立つことが確認された。

松任海浜公園や海水浴場から本避難所への避難経路は、北陸自動車道の上に設置されている「ラブリッジ

まっとう」と名付けられた歩道橋である。北陸自動車道への歩行者の侵入は禁止されているため、この歩道橋を使つての移動となる。本ゼミでは、2022年1月までに、これ以外の避難経路は確認していない。



「おつかりさま」
駐車場設置の
災害救援ベンダー
(写真提供：内潟美晴氏)

成果、結果の考察

松任海浜温泉おつかりさまの駐車場は、申し分ない広さで、海拔9メートルの場所に位置している。飲料水にも事欠かないことから、適切な避難場所と言えるだろう。しかし、ここに至る避難経路は、どうであろうか？松任海浜公園や徳光海水浴場から、北陸自動車道に架かる歩道橋を通って、松任海浜温泉駐車場に避難する場合、当該歩道橋から一番離れた松任海浜公園東端からは、1 km 強の距離がある。また、歩道橋は、限定的な幅しかないため、避難時にどのくらいの人数が滞留せずに渡れるのかということも問題となってくる。本ゼミでの今後の活動課題は、レクリエーション施設の避難場所についての更なる考察になろう。